

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第1週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

## 方法等

### 対象期間

令和5年 第1週分 1月3日～1月9日公表分

### 症例定義

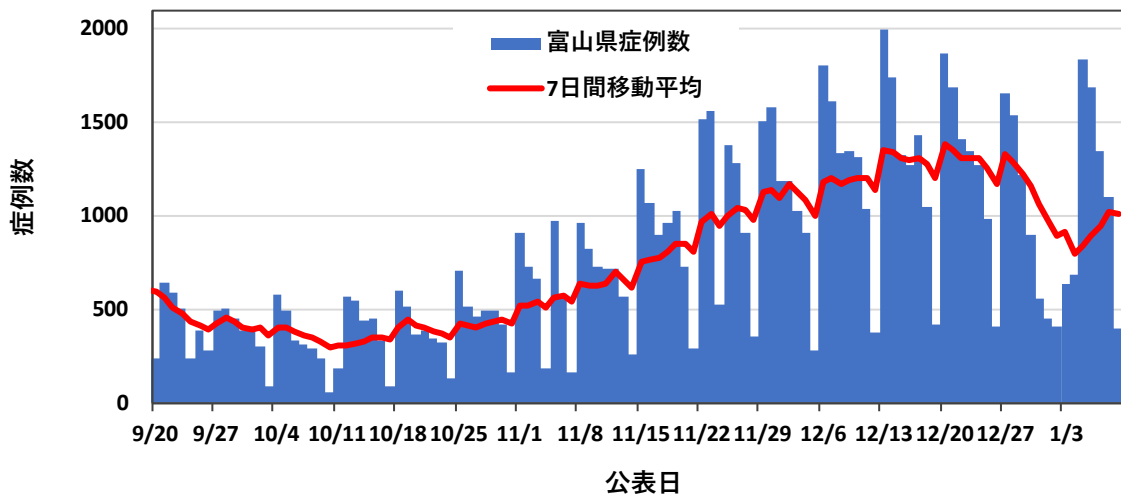
富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において  
上記期間に富山県内で報告された症例  
→ **7,699例**

### 情報源

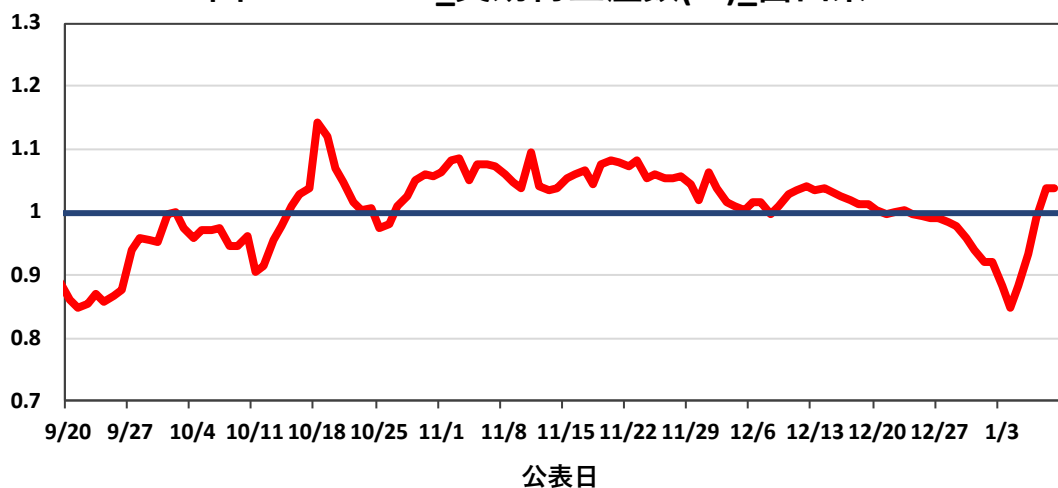
富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

### 図1. COVID-19流行曲線（富山県）



### 図2. COVID-19\_実効再生産数(Rt)\_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数}) \wedge (\text{平均世代時間} / \text{報告間隔})$   
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、1週）

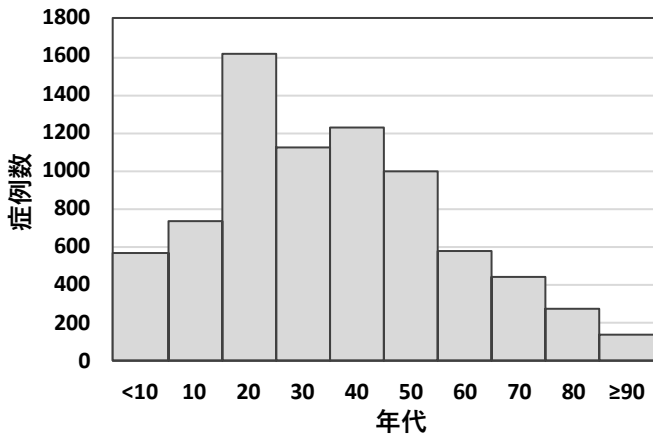


図4. COVID-19年代別割合（富山県、1週）

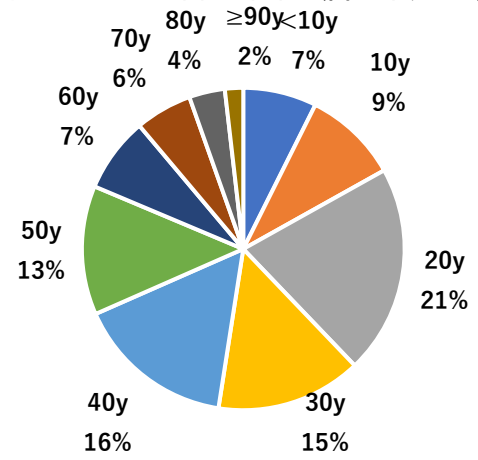


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

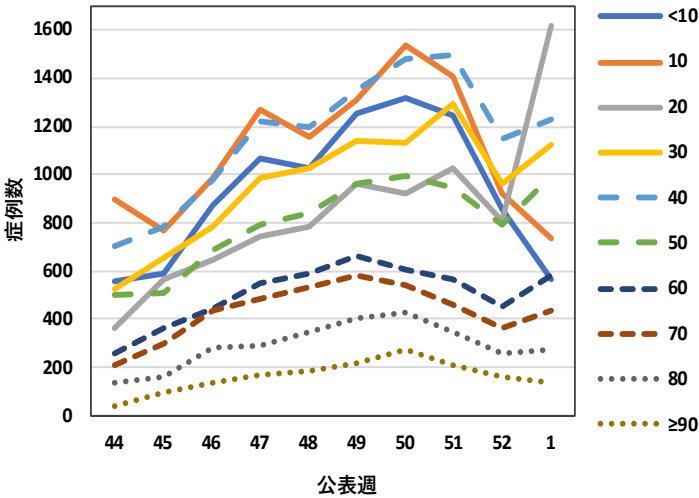
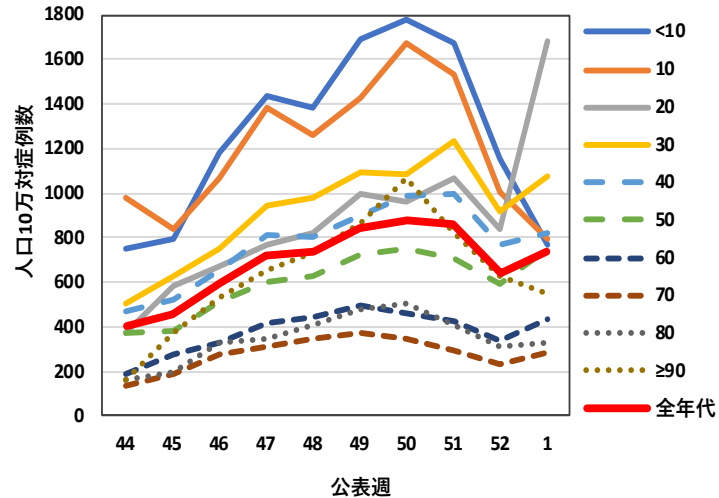


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



### 1月9日時点での所見と評価

- 第1週の新規報告数は、7,699例。先週（6,727例）から増加した。
- 実効再生産数（図2）は、1/4から増加傾向。1/6以降1.0を超え、1/9時点で1.04。
- 第1週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。20歳代が最も多く21%を占めた。次いで40歳代、30歳代、50歳代の順に症例数が多い状況。60歳以上の割合は19%を占め、先週(18%)と同程度。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。これまで症例数が多かった10歳未満、10歳代では51週に引き続き症例数が減少傾向である。一方、今週20歳代（灰色）が著しく増加した。また、30～70歳代においても今週増加に転じている。冬季休業による学校での感染が減少した一方、年末年始休暇による人流が増加した影響が考えられる。
- 昨年には成人式後に症例数が急増したことから、今後の感染拡大に注意が必要である。